

# 歯科口腔外科

曜日	内容	担当	集合時間	集合場所
月	オリエンテーション・口腔外科症例検討	野口	9:00	2号館5階口腔外科セミナー室
	病棟処置見学	吉川	10:30	1号館9階東病棟 処置室
	昼食			
	症例検討（インプラント、骨移植）	上田	13:00	2号館5階口腔外科セミナー室
	相互実習（印象採得・パノラマ撮影）	加島	14:15	2号館3階口腔外科外来
	教授回診見学	岸本	15:30	1号館9階東病棟 処置室
火	手術見学	吉川	9:00	急性医療総合センター手術室
	昼食			
	相互実習（オーラルフレイル）	徳本	13:00	2号館5階口腔外科セミナー室
	相互実習（口腔内細菌感染）	加島	14:15	2号館5階口腔外科セミナー室
	症例検討（良性腫瘍、悪性腫瘍）	埴	15:30	2号館5階口腔外科セミナー室
水	症例検討（歯科と関連のある全身疾患）	埴	9:00	2号館5階口腔外科セミナー室
	症例検討（一般歯科治療について）	富本	10:10	2号館5階口腔外科セミナー室
	歯科技工見学・体験	歯科技工士	11:10	2号館3階口腔外科外来
	昼食			
	外来診療見学・体験	大森	13:00	2号館3階口腔外科外来
	口腔衛生指導実習	歯科衛生士	14:30	2号館3階口腔外科外来
	臨床講義・総括	岸本	15:35	2号館5階口腔外科セミナー室
木				
金				

◎ 診療科名： 歯科口腔外科

◎ 責任者氏名： 岸本裕充 教授

◎ 指導教員氏名： 富本康平 助教

◎ 実習概要

1.症例検討、2.教授回診、3.病棟・外来実習、4.模擬実習（口腔内相互実習・口腔内細菌観察）、5.模擬実習（口腔衛生指導実習）、6.模擬実習（歯科技工実習）、7.模擬実習（オーラルフレイル検査）、8.手術見学、9.その他各種検査・処置・治療の見学などを行い、歯科・口腔外科領域において的確な診断と治療方針の立案を目指す。

◎ 各診療科における到達すべき学修成果（アウトカム）

（臨床実習の授業概要「到達目標（アウトカム）」に準拠する）

- ・ 歯科・口腔外科領域における主要疾患についてアセスメントができる。
- ・ 歯科・口腔外科領域の患者の基本的診察法をしている。
- ・ 基本的な検査ができる。
- ・ 治療計画を立てることができる。
- ・ 患者の立場に立った対応ができる。

◎ 準備学習ならびに事後学習に要する時間

- ・ 教科書歯科・口腔外科領域の総論を読むこと（2時間程度）
- ・ 3年次の講義資料をよく復習すること（2日）
- ・ 歯科・口腔外科領域の国家試験過去問を解いておくこと（3時間）

## ◎ 評価方法

知識、態度（積極性）、コミュニケーション、病態の把握について評価。  
評価基準をルーブリックで明示。

### 【知識★】

点数	基準
5	1) 代表的な疾患について治療計画を説明できる。 2) 国家試験レベルの内容を他生徒に指導できる。
4	1) 代表的な疾患についてアセスメントができる。 2) 国家試験レベルの内容は十分理解している。
3	1) 代表的な疾患の概略を説明できる。 2) 国家試験レベルの内容を大部分理解している。
2	1) 一部の疾患について理解している。 2) 国家試験レベルの内容を一部分理解している。
1	1) 全く知識がない。 2) 全く理解していない。

### 【態度（積極性）★】

点数	基準
5	積極的で、他生徒とカンファレンスができる。
4	積極的で質問もよくする。
3	ノルマはこなしているが、やや消極的である。
2	消極的で質問がない。
1	実習内容に興味を示さない。

### 【コミュニケーション★】

点数	基準
5	相手の感情や状況を深く理解し、共感を示す。
4	自ら話題を提供し、双方向のやり取りを主導する。
3	質問や話し相手の話に応じて反応する。
2	話を聞くだけで自ら発信しない。
1	話を聞いていない。

## 【病態の把握】

点数	基準
5	適切に病態を把握し、口腔衛生指導方法を他生徒に指導できる。
4	適切に病態を把握し、口腔衛生指導ができる。
3	患者さんの口腔衛生指導で、不十分な点に気付くことができる。
2	自分自身に対し、口腔衛生が適切にできているか否か評価できる。
1	評価する知識が全くない。

### ◎ 中間評価とフィードバック

なし。

### ◎ 注意事項

- ・初日は9時に2号館5階歯科口腔外科セミナー室に集合すること。